

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2014年11月6日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

11月11日「介護の日」 「介護なんでも**無料**電話相談会」

☎0120-133-302 10時～20時

介護制度や介護労働問題の専門家が相談に応じます



保険料の見込み 市町村の多くが値上げ **1.33倍も** 市町村から国への切実な要望も

各地で介護保険制度が改悪される中、第6期計画の検討を進めていますが、市町村に対して、中央社保協が緊急調査中です（北海道分の結果は、14日の地域社保協交流集会で報告します。下記は11/6現在）。

第6期保険料の見込み（第5期と比べて）

「引き上げ」**59.5%** 「わからない」**24.3%**

「据置」**13.5%** 「引き下げ」**2.7%**

***最高は1.33倍 最高は6460円**

「要支援者」の総合事業「多様なサービス」の確保

「見通し立たない」**81.1%** 「できない」**8.1%**

市町村担当者から **総合事業への移行反対**

○介護が必要にならないためにも、**日常からの介護予防が必要**。要支援1.2の生活支援、通所介護の総合事業への移行は**反対**。

○今回の法改正については、**給付費削減**を柱にしたものであり、**介護サービスを必要とする人たちが生活について軽視されている**と思います。総合事業についても**受け皿等は自治体間で大きく差が出る**と思います。

制度の改悪でなく改善を！

利用者、事業所、労働者も深刻

「介護される人もする人も みんな笑顔に北海道連絡会」は事業所を対象にアンケートを行っています。11月4日、その中間報告や介護労働者調査結果（道労連）を発表しました。

助けてください 【訪問介護・通所介護 事業所アンケート】

○「6%の介護報酬引き下げ」の財務省案などについて

「とんでもない話です」「介護事業の崩壊を招くと思います」

「小規模ディサービスを助けてください」

○介護報酬改定への要望「介護職員の処遇改善」**91%** 「保険料・利用料の負担増にならない仕組み」**72%**

安い賃金・忙しい・やりがい感じていても辞めたい

【介護労働者実態調査】（道内437人分）

○全産業と比べて**月10万円低い賃金**（正職員で197,523円 全産業平均297,700円）

○仕事を辞めたいと思う 「いつも」「ときどき」**58.4%** / 「やりがいを感じる人」でも**48.3%**が辞めたい

○辞めたい理由：「賃金が安いから」**47.5%** 「仕事が忙しいから」**44.8%** 「体力が続かないから」**38.1%**

ボランティアに代わるのは困ります 【訪問介護・通所介護 利用者アンケート】も行っています。

○ヘルパーがボランティアに代わることについて 「困る」**89%**

○ディサービスがボランティアに代わることについて 「困る」**76%**

安倍首相・塩崎厚労大臣へ FAXでも要請を

首相官邸 03-3581-3883 厚生労働省 03-3595-2392

